

川崎市の音環境についての調査結果

この調査は、地域の静けさについての満足状況、日常生活の様々な場面で「聞こえて悩まされる音」・「聞こえて好ましい音」等の状況及び川崎市に住んでいてどのようなイメージの音環境を描いているかを把握するとともに、良好な音環境を形成していくための基礎資料を得ることを目的として、平成12年9月に、149人の市政モニターを対象にアンケート調査を実施しました。回答者は127人（回答率85%）で、結果の概要は次のとおりです。

静けさについての満足状況

「住んでいる地域の静けさについて」の問いに対し、市全体でみると、静けさに「満足」「どちらかといえば満足」と回答した比率は75%、「どちらかといえば不満」「不満」が25%であった。

区別では、麻生区が「満足」「どちらかといえば満足」と回答した比率が94%と最も高く、反面、川崎区が最も低く40%であった。

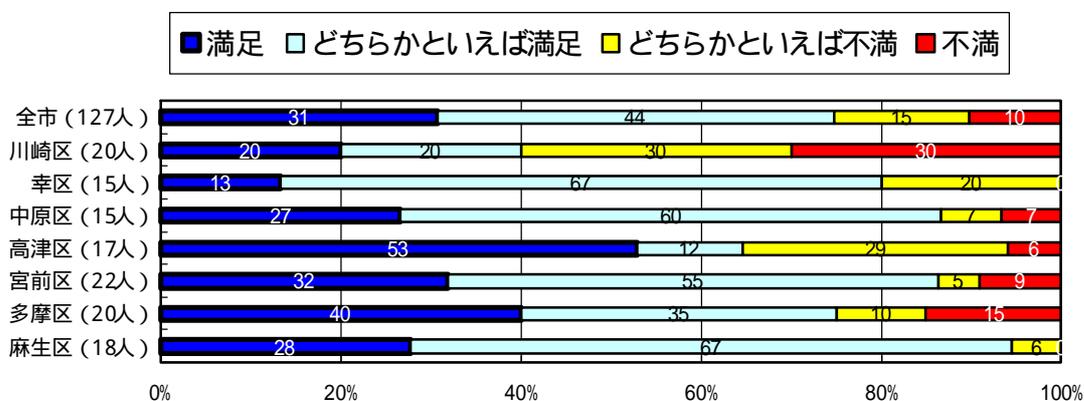


図1 「静けさ」についての満足状況の区別構成比率

自宅で聞こえて悩まされている音

自宅で聞こえて悩まされている音について、その種類ごとに集計したところ、「バイクの走行音」が40.9%と最も高く、上位の多くは自動車・飛行機等の交通機関の音で占められていたが、「カラスの鳴き声」が20.5%で3位となっていた。

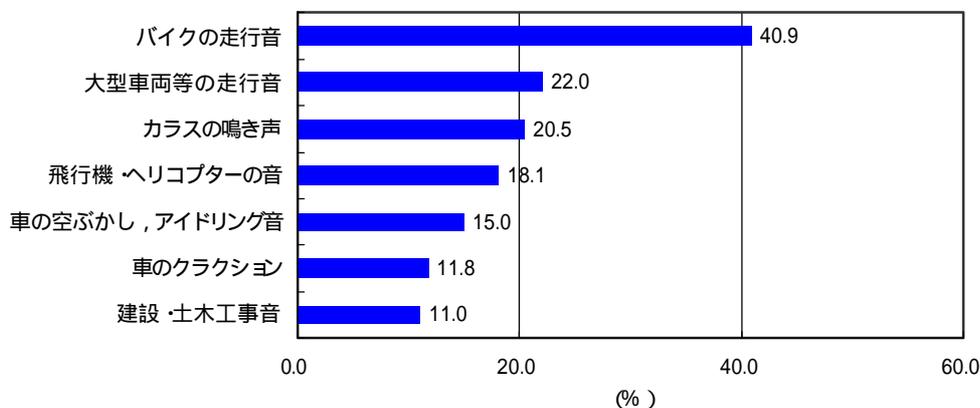


図2 聞こえて悩まされている人の比率 (上位7項目)

自宅で聞こえて好ましい音

自宅で聞こえる音で、好ましいと感じる音について、その種類ごとに集計したところ、聞こえて好ましい音として、「秋の虫・カエル・セミの声」が最も高く、回答者の59.1%を占めており、次いで「小鳥の声」の52.8%の順であり、自然界からの音が上位を占めた。

また、人為的な音でも、「祭り・花火大会・盆踊りの音」が31.5%（3位）、「子供達の遊び声」が29.1%（4位）、「風鈴の音」が19.7%（5位）となっていた。

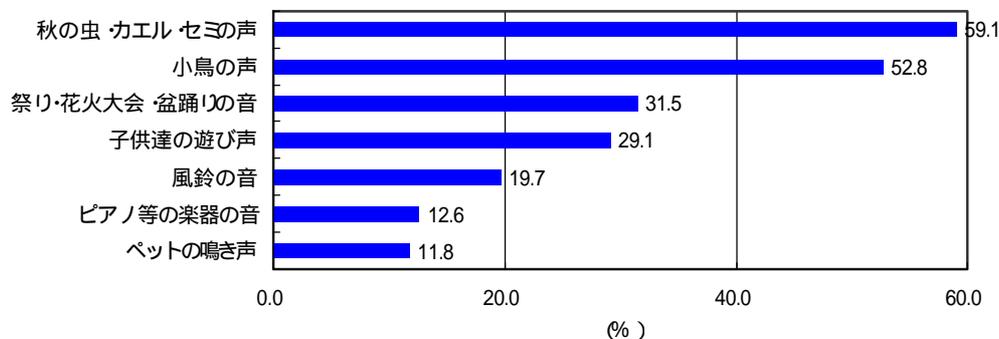


図 3 聞こえて好ましいと感じる人の比率 (上位 7項目)

外出時に聞こえて不快な音

外出した際、不快な音として、「暴走族の音」(85.0%)、「車、オートバイの空吹き」(71.7%)等の交通騒音が上位を占めていた。特に近年、携帯電話が急速に普及する一方で、車内での使用にあたってはマナーの必要性が伺われた。

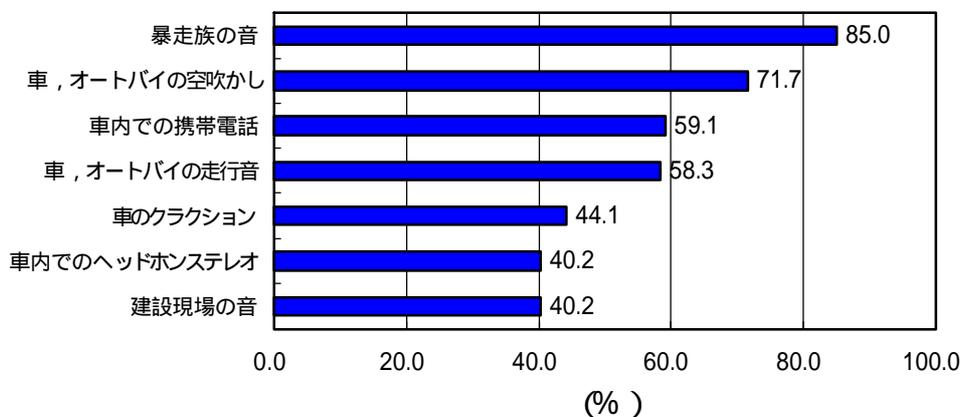


図 4 外出時に聞こえて不快と感じる人の比率 (上位 7項目, 回答者数 127, 複数回答あり)

「誇れる音・好きな音」 (図5参照)

「誇れる音・好きな音」は、自然の音、寺・祭りの音、季節の音等多岐にわたって回答があり、その中から地域性があり、多くの市民に知られているものを5件選んで図5に示した。

「今はなくなった昔の音」・「思い出に残る印象深い音」 (図6参照)

「今はなくなった昔の音」、「思い出に残る印象深い音」として、野鳥のさえずり、虫・カエルの鳴き声、小川のせせらぎ等の自然をイメージする音の他、豆腐売りのラッパ、金魚売り、風鈴売り、チンドン屋、子供たちの遊ぶ声が挙げられていた。特に、豆腐売りのラッパの音は全市的に多くみられた。



図5 誇れる音・好きな音の主なもの

回答者64人(複数回答)で、1区当たり2人以上の回答があったものを表示し、()内はその回答者数を示す。



図6 「今はなくなった昔の音」「思い出に残る印象深い音」の主なもの

問合せ先：環境局公害創研音振動課
電話：200-2525